

イトトリゲモ

Najas gracillima (A. Braun ex Engelm.) Magnus
トチカガミ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

水田の乾田化や農業使用によって減少した。

分 布

本州～九州に分布。県内一円に分布するが、確認例は少ない。

種の特徴

水田や池に生える沈水性の一年草。茎は細く、枝分かれし、節に細い葉が5個ずつ輪生する。

生育を脅かす要因

池沼の開発、水田の乾田化。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○	○								○		○

ホッスモ

Najas graminea Delile
トチカガミ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

湿地の開発や水質汚濁により減少した。

分 布

本州～琉球に分布。県内では広く分布する。

種の特徴

ため池や湖沼などに生息する沈水生の一年草。葉は長さ約2 cm。雌雄同種で、花期は7～9月。

生育を脅かす要因

湿地開発、水質汚濁。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○		○	○		○			○	○				○

ミズオオバコ

Ottelia alismoides (L.) Pers.
トチカガミ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

乾田化、用水路の改修、農業汚染等により減少した。

分 布

本州～九州に分布。県内一円で確認されている。

種の特徴

水田や用水路に生える一年生の沈水植物。葉は根生し、長さ10～30 cmで波形のしわがある。花期は8～10月。花弁は3個で淡紅色、長さ15～20 mm。

生育を脅かす要因

乾田化、農業汚染、水質汚濁。

参考文献

福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○	○				○	○	○	○	○	○	○